

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小野 広嗣	1 所信表明について	(1) 市長の目指す、日本一輝きつづける「ふるさとづくり」の集大成とは、具体的にどのような姿を指すのか。	市 長
		(2) 大型店の進出や後継者不足により、空き店舗の状態が続いている既存商店街の活性化対策について問う。	市 長
		(3) 住み慣れた地域で介護や医療、生活支援などを受けることができる「地域包括ケアシステム」の構築へ向けた取り組みについて問う。	市 長
		(4) 「限られた人材で、より質の高い行政サービスの提供に向け、接遇意識の向上や、職員の意識改革、能力開発を推進する」とあるが、そのための職員のやる気を引き出す仕組みづくりについてはどのように考えているのか。	市 長
		(5) 志の心を育むための人材育成システムの創出や本市独自の教育システムの構築について具体的に示せ。また、その実現のためには、教育委員会の果たす役割が大きいと思うが、新教育長の抱負を問う。	市 長 教育委員長
2 野村 広志	1 通学路総点検について	(1) 本市における通学路の安全点検・危険箇所の把握状況について問う。 (2) 通学路交通安全プログラムを策定する考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 医療行政について	(1) 所信表明でも示された、曾於医師会立病院の在り方等を含む、地域医療体制及び緊急医療体制の考え方について問う。	市 長
3 青山 浩二	1 スポーツ振興策について	(1) 今回の県下一周駅伝大会についての感想と今後の対応策について問う。 (2) サッカーフェスティバルの現状と2020年・鹿児島国体に向けたサッカー会場の今後の対応策について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 所信表明について	(1) 所信表明において「小中一貫教育の導入」とあるが、具体策を問う。	市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4平野栄作	1 防災行政について	<p>(1) 東日本大震災発生から、3年が経過しようとしているが被災地の復旧復興は遅々として進んでいないのが実情のようである。</p> <p>また、時間が経過するにつれ震災の記憶が薄れていく事が、今後の対策に大きな影響をおよぼすのではないかと危惧される場所である。</p> <p>近い将来発生が予測されている南海トラフ等の地震への備えとして自助・共助の意識高揚が不可欠であると思うが、以下の点について問う。</p> <p>① これまで実施した、地震津波避難訓練の成果及び反省点をどのように今後の訓練等に活かしていくのか。</p> <p>② 今後の各地区自主防災組織活動支援策をどう進めていくのか。</p> <p>③ 総務省が消防団の装備基準見直しを行ったが、本市ではどのような観点から整備を進めていく考えか。</p>	市 長
	2 移住定住促進対策について	<p>(1) 県内では同様の事業を実施している市町村が多数ある中、宅地分譲まで手掛けているところは少ない状況にある。</p> <p>市が窓口となって土地の仲介までを行わないと、事業そのものが成り立たない状況にある。</p> <p>土地開発公社を活用して、空き地や雑種地等を宅地に造成するなどの取組を行い、事業推進につなげる事は考えられないか。</p>	市 長
	3 道路行政について	<p>(1) 通山校区では、ゾーン30が導入され、児童生徒の安全性が一段と確保されてきているものと認識している。他の校区でも通学路の安全性が問題となる中、該当となるべき道路が存在しているが、これらへの対応をどう考えているか。</p>	市 長 教育委員長
5岩根賢二	1 政治姿勢について	<p>(1) 今回の市長選挙の経過と結果をどのようにとらえ、今後の市政運営に反映させる考えか。</p>	市 長
	2 所信表明について	<p>(1) 「学力日本一を目指した取り組み」の具体的な内容と教育委員会の考え方について問う。</p> <p>(2) 環境志布志モデルを「国際協力機構 (JICA) の事業を活用しながら、国内外への情報発信に取り組む」とあるが、分別困難者対策や不法投棄対策など、身近なごみ問題に取り組む必要があると思うがどうか。</p> <p>(3) 「あいさつ日本一の市役所」については、以前から取り組みがなされているが、その到達度と今後の取り組みをどのように考えているか。</p>	市 長 教育委員長 市 長  市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年3月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
6小園義行	1 政治姿勢について	(1) 選挙公約で市庁舎の移転問題について「現在の位置にこだわるものではありません」と述べている。考えを問う。	市 長
	2 児童福祉について	(1) 子ども医療費助成事業を高校卒業まで、広げる考えはないか。 (2) 障害をかかえている児童の放課後児童健全育成事業の在り方を問う。	市 長 市 長 教育委員長
	3 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金支給事業について節目支給を見直し、75才以上全員に支給する考えはないか。	市 長
	4 学校教育について	(1) 就学援助の対象範囲が拡大されたことに伴い、準要保護児童・生徒にも広げる考えはないか。	市 長 市 長 教育委員長
7鶴迫京子	1 福祉行政について	(1) 本庁・志布志支所・松山支所・文化会館等の公共施設の洋式トイレを、高齢者や身障者・病弱者の方を思いやり、利便性のあるやさしい温水洗浄便座に切り替える考えはないか。	市 長
	2 保健行政について	(1) 歯周病は歯を失うだけでなく、生活習慣病を悪化させる全身の疾患と関係するこわい病気であるため、40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢の人を無料にするなど多くの市で、歯周疾患検診が行われている。 本市でも実施する考えはないか。 (2) 母子健康手帳に無料受診券を添付し、妊婦歯周疾患検診を女性の健康支援として実施する考えはないか。	市 長 市 長
	3 男女共同参画について	(1) 男性職員の課長が3月で多数、退職されると聞く。女性職員は労働力の減少を補うだけでなく能力を発揮することで、新たなイノベーションを生み出し、男性も働きやすい組織に変える。女性の管理職登用の機会について、市長は所信表明で触れられていないが、いまだ女性課長のいない本市の現状と今後をどのように考えるか。 (2) 女性消防隊（仮称）について、具体的な活用策と今後の推進策を問う。	市 長 市 長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 小 辻 一 海	1 環境行政について	(1) 不法投棄・ポイ捨てが相変わらず減少していないが、現状の認識と今後の取り組みについて問う。 (2) 高齢者等のごみ出しに負担感が増しているとの声を聞くがその対策を問う。 (3) 資源ごみ集合収集を有明地区で実施する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	2 学校施設について	(1) 閉校になった田之浦・出水中学校の今後の活用策について。 ① 跡地利用と地域の活性化についてどのように考えているか。 ② 学校の備品・付属設備等の活用はどのように考えているか。 (2) 休校中の四浦小学校の今後の考え方を問う。	市 長 教育委員長  市 長 教育委員長
2 野 村 広 志	1 雇用創出と若者定住化政策について	(1) 雇用の創出につながる臨海工業団地の企業誘致について問う。 (2) 地域おこし協力隊の活用による定住化政策について問う。	市 長 市 長
	2 施政方針について	(1) 志ブランド確立への取り組みについて問う。 (2) 茶業振興について。 ① 茶レンジ風邪なし運動等の成果と今後の方針・課題について問う。 ② 茶機能実証事業など茶消費拡大対策の成果と今後の取り組みについて問う。	市 長 市 長 教育委員長
	3 消防行政について	(1) 各消防方面隊組織の再編への取り組みについて問う。 (2) 地域消防・自衛消防の状況把握について問う。 (3) 消防団員の福利厚生について問う。	市 長 市 長 市 長
3 長 岡 耕 二	1 中学校の跡地利用について	(1) 出水・田之浦中学校の跡地利用について。 ① 市長の基本的な考えを示せ。 ② 地域の意見をどのようにくみあげていくか。 ③ 今後どのような形で進める予定か。	市 長
	2 水道事業について	(1) 田床・柳井谷自治会の進捗状況を示せ。 (2) 事業実施に伴う財源はどのように考えているか。	市 長 市 長
4 青 山 浩 二	1 スポーツ振興策について	(1) 今回の県下一周駅伝大会についての感想と今後の対応策について問う。 (2) 2020年・鹿児島国体に向けたサッカー会場の今後の対応策について問う。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 所信表明について	(1) 3月議会の所信表明において「小中一貫教育の導入」とあるが、具体策を問う。	市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5八代 誠	1 市有林を含む林業振興について	(1) 戦後植林され、伐採期を迎えた公有財産である市有林の管理及び整備について問う。 (2) 森林資源の無駄のない再活用について問う。	市 長 市 長
	2 学校給食の現状について	(1) 本市の学校給食の現状（全般）について。 ① アレルギー対策について問う。 ② 給食費未納対策について問う。	教育委員長
6小野 広嗣	1 人口減少対策について	(1) 民間有識者らによる日本創成会議は先月、2040年に若年女性の割合が半減し、消滅する可能性が高い自治体が896自治体にのぼるとの試算を発表し、波紋を呼んでいるが、市長は日本創成会議の提言をどのように受け止めたのか。 (2) 人口減少に歯止めをかけるためには、若者が結婚し、子どもを産み育てやすい環境をつくるための政策を集中することが必要であり、雇用・生活の安定や、結婚・妊娠・出産支援、働き方の改革等、総合的な施策の展開が急務である。本市では、今後どのような対策を考えているか。	市 長 市 長
	2 防災・減災対策について	(1) 昨年12月に、「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」が成立した。そこには地方公共団体などに対し、計画策定や施策についてその責務が明記されている。災害から生命を守る計画策定に向け、本市の計画策定はどう考えているのか。また今後、どのような取り組みを行うのか。	市 長
	3 イベントにおける安全対策について	(1) 昨年8月に京都府福知山市において、花火大会の会場で露店の爆発事故が起き、楽しいはずの花火大会が悲惨な事態となった。イベント開催時の来場者への安全確保は必ず行わなければならないが、本市ではどのような考え方に立ち、対策を行っているのか。	市 長
	4 図書館行政について	(1) 施政方針では図書館運営について、「図書館へ行こう！」をキャッチフレーズに本好きな子どもを育てる環境づくりや図書館をより身近に感じられる読書活動の推進に努めるとあるが、今後さらに、図書館利用の推進を図るためにどのような効果的な取り組みを考えているのか。	教育委員長 市 長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7 玉垣大二郎	1 地域振興について	(1) 都城志布志高規格道路の志布志道路部分の建設計画において代替道路建設が示されたが、その計画状況とこの地域の今後の開発について問う。 (2) 町原地区に新たな市道の建設や生活道路を整備する考えはないか。 (3) 町原地区に存在する耕作放棄地を有効利用する考えはないか問う。	市長  市長  市長
	2 防災行政について	(1) 高齢者や買い物客の避難のため、稚子松跨道橋への階段を建設できないか問う。 (2) 防災行政無線の難聴地域の解消を図るべきではないか。	市長  市長
8 西江園 明	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
	(取り下げ)		
9 平野 栄作	1 環境行政について	(1) 外来植物のメリケントキンソウが、関東以西に広く分布域を拡大してきており、県内においても全域的に生育が確認されている。 このままでは、憩いの場である緑地公園での散策やサッカー等の屋外スポーツ、または学校での体育等の授業にも影響が大きくなるものと危惧されるところであるが、以下の点について問う。 ① こどもエコクラブチームMK Tの活動が新聞、市報に掲載されているが、この活動をどう受け止めているか。 ② 市内における発生状況を把握しているか。 ③ 植物の生態等の周知を図る必要があるのではないか。 ④ 部分的には駆除が行われているが、広域的に連携した取り組みが必要と考える。効率的・効果的な対策をどう推進していく考えか。	市長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年6月定例会（No. 4）

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
9平野 栄作	2 道路行政について	(1) 各自治会では年1回、周辺道路の伐採・清掃作業を実施している。 高齢化の進展に伴い、作業が困難となる自治会も出てきている中、作業を継続している自治会において、近年作業中の怪我等事故の発生を耳にするが、市としての安全対策面への配慮や事故保障について問う。 また、今後更に高齢化が進展していくが、自治会における道路清掃作業の方向性を示せ。	市 長
10丸山 一	1 環境対策について	(1) 公の施設におけるアスベスト対策について現状を問う。 (2) 事業者への指導はどうなっているか。	市 長 教育委員長 市 長
	2 入札執行について	(1) 不調となった入札執行についてどのように考えるか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 市道安楽中園線の道路改良について問う。	市 長
11東 宏二	1 グラウンドゴルフ専用場について	(1) スポーツ振興計画（案）では、平成28年度の目標となっているが、前倒しする考えはないか。 (2) 場所の選定は終わっているのか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	2 枇榔島について	(1) 平成23年の台風で栈橋が破損しているが整備する考えはないか。	市 長
	3 ふるさと納税について	(1) 県内26市町村で特産品等を送付しているが、本市は特産品等を送付する考えはないか。	市 長
12小園 義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎あり方検討委員会の設置等についての取り組みについて問う。	市 長
	2 教育行政について	(1) 地方教育行政法改正案についてどのように受けとめているか。 (2) 学力向上日本一を目指した教育推進のため、「確かな学力の定着に向けた検討委員会」（仮称）を設置とあるが考え方を問う。 (3) 就学援助費が拡充されたが準要保護世帯にもひろげる考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 本庁・支所、給食センター、保育所や一部事務組合で働く職員の業務のあり方をどのように考えているか。 (2) 勤務年数の実態を問う。 (3) 期末手当の支給についてどのように検討したのか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	4 児童福祉について	(1) みどり保育所の民間移管の進め方は、保護者との合意を前提に進めるべきと考える。その後の対応について問う。	市 長
	5 高齢者福祉について	(1) 敬老祝金を75歳以上すべての高齢者に支給する考えはないか。	市 長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園 明	1 物品購入や工事関係について	(1) 物品購入や工事の発注は市内業者を優先すべきではないか。	市 長
	2 職員の研修について	(1) 職員の資質向上のために研修の充実を図る考えはないか。 (2) 青少年研修事業において職員の随行をやめたのはなぜか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
	3 嘱託職員の待遇改善について	(1) 国も消費拡大を提唱している。嘱託職員にも賞与を支給すべきではないか。	市 長
	4 ふるさと納税について	(1) 6月定例後の推進策の方向性について問う。 (2) この制度の充実した推進を図るため、市内外への周知のあり方について問う。	市 長 市 長
2 野村 広志	1 農業振興について	(1) 農政改革による農地中間管理事業など、本市への影響について問う。 (2) 農政改革による農業所得の影響について問う。 (3) 新規就農の現状について問う。 (4) 日本型直接支払制度（多面的機能支払交付金）について問う。 (5) 畜産振興対策について問う。	市 長 農業委員長 市 長 市 長 市 長
	2 保健・福祉行政について	(1) 法律改正に伴う介護保険制度について問う。 (2) 介護施設・特養老人ホームの現状について問う。 (3) 認知症施策の見守りシステム構築について問う。	市 長 市 長 市 長
3 小野 広嗣	1 防災対策について	(1) 今夏はゲリラ豪雨、経験のない大雨、大型台風とまさに災害列島そのものの様相を呈した。特に広島市の土砂災害の被害は甚大である。このような異常気象の時代に、災害から住民の生命と財産を守るための我がまちの防災対策について問う。	市 長
	2 福祉・保健行政について	(1) 生活困窮者に対して、明年4月から「生活困窮者自立支援法」が施行される。本年はその準備期間となるが、本市では法律の趣旨をどのように受け止めて取り組んでいくのか。 (2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が昨年6月に成立した。施行は平成28年となっているが、残すところ1年半であり、市として法律施行までに、この法律の趣旨を実効あるものにするための取り組みをスタートさせておくべきではないか。 (3) 本年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行された。不適切な飲酒は、健康被害とともに、家族や社会に深刻な問題をもたらすとして、被害防止を計画的に進めるための国、自治体、事業者、国民などの責務が定められている。この法律を実効あるものにするための具体化はこれからだと思うが、本市の現状について示せ。	市 長 教育委員長  市 長 教育委員長  市 長 教育委員長



## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3小野 広嗣	3 教育行政について	(1) 総務省の青少年のインターネット利用と依存傾向に関する調査の結果を見ると、インターネット依存は、睡眠時間や勉強の時間を犠牲にしている状況が見られ、それにより健康面だけでなく、学習面にも影響が出ている。本市の現状及び、今後の予防と対策について問う。	教育委員長
4八代 誠	1 うそ電話詐欺撲滅について	(1) 本市の取り組み状況と今後の対応策について問う。	市 長
	2 ごみの減量化とリサイクルの推進について	(1) 近隣自治体との共同処理を念頭とした、広域的焼却施設を設置する考えはないか。 (2) 本市の一般廃棄物処理実態調査に伴う調査結果について問う。 (3) 分別困難者及びごみ出し困難者に対する支援について問う。	市 長 市 長 市 長
5平野 栄作	1 畜産振興策について	(1) 高齢化と後継者不足により、繁殖農家戸数・繁殖雌牛頭数の減少傾向が続いている。 また、繁殖農家戸数の50%以上が70歳以上の階層にあることから、今後減少傾向に、より一層拍車がかかると推測されるが、この現状をどのように認識し対策を講じていく考えかを問う。	市 長
	2 移住定住促進について	(1) 事業を推進する上で、基礎調査（空き地・空き家情報等）の実施が必要となると考える。 湧水町では空き家管理にシルバー人材センターを活用しているが、移住定住促進策の基礎調査をセンターに委託する考えはないか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 自治会による市道等の伐採作業が、高齢化等により実施できなくなるケースが増加していく事が考えられる。 将来的に相当の距離になると思われるが、経費面等の対応策をどのように考えているか。	市 長
6丸山 一	1 農業行政について	(1) 市内の土地改良区が管理運営する施設の保全等について、土地改良区、水利組合への市の対応策を問う。	市 長
	2 ブランド推進について	(1) 日本ミツバチを本市のブランドとして取り組む考えはないか。	市 長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7持留忠義	1 茶業振興について	(1) 茶業においては3年続きの価格低迷であり、全体的に経営が厳しい状況である。価格補填等の対策はできないか。また、6月に述べられた施政方針の中で、生産農家の経営安定と農業所得向上を目指す、とあるがその具体策を問う。	市 長
	2 畜産振興について	(1) 畜産振興について、牛の頭数が減少しているが、今後の増頭対策をどのように考えているか。	市 長
	3 道路行政について	(1) 県道東原大崎線の道路改良計画を問う。 (2) 県道志布志有明線の道路改良進捗を問う。	市 長 市 長
	4 消防行政について	(1) 定数に達していない分団があるが、その対策を問う。	市 長
8福重彰史	1 道路改良について	(1) 県道塗木大隅線、松山支所前の改良について、その考え方と、交差する市道松山小学校方面への改良の見通しを問う。 (2) 県道柿ノ木志布志線弓場ヶ尾地区の改良の見通しを示せ。	市 長 市 長
	2 公契約について	(1) 公共工事や委託業務を合わせ、年間およそ何件くらい発注があるか。また、その総額はどれくらいか。 (2) 厳しい人材確保の背景を受け、国は設計労務単価の引き上げを行っているが、公共工事による実態をどう把握しているか。 (3) 公契約条例を制定する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	3 個人情報保護について	(1) 第三者に交付した住民票の写しなどを本人に知らせる「本人通知制度」の導入の考えはないか。	市 長
	4 医療行政について	(1) 曾於医師会立病院の充実・強化に向けた取り組み状況を問う。	市 長
9小辻一海	1 防災対策について	(1) 広島土砂災害など最近の豪雨災害から見た本市の防災対策の取り組みについて問う。 (2) 本市の防災教育と避難訓練の取り組みについて問う。 (3) 田之浦・四浦分団消防詰所の移転について問う。	市 長 市 長 教育委員長 市 長
	2 支所機能の再編について	(1) 本庁と志布志支所の機能分担で支所の権限を強化する考えはないか。	市 長
	3 教育行政について	(1) 児童生徒の携帯電話、スマートフォン等の安全運用対策について問う。 (2) 子どもを守るためのネット依存対策について問う。	教育委員長 市 長 教育委員長
	4 国民文化祭について	(1) 本市は、来年開催される第30回国民文化祭で志エッセイフェスティバルを計画されているが取り組み状況について問う。	市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年9月定例会 (No. 4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10岩根賢二	1 防災対策について	(1) 「南海トラフ地震防災対策推進基本計画」の中で、志布志市は、深刻な津波被害が懸念される「津波避難対策特別強化地域」に指定された。このことを受けて、特に地震・津波対策として以下の事項に取り組む考えはないか。 ① 避難路の確保と周知策の徹底。 ② 歩道橋を利用した避難タワーの設置。 ③ 一般住宅の耐震診断や耐震補強工事に対する補助制度の創設。	市 長 教育委員長
	2 介護予防対策について	(1) 脳の活性化に有効といわれている「健康マージャン」を介護予防の一環として、サロン活動や生涯学習等で導入する考えはないか。	市 長 教育委員長
11青山浩二	1 学校施設について	(1) 小中学校の普通教室へのエアコン設置について問う。 (2) 内閣府が推進しているPFI事業（民間資金等活用事業）を取り入れる考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
12小園義行	1 政治姿勢について（本庁舎問題）	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組み状況はどうか。 (2) 緊急時における通信手段の確保はどうか。	市 長 市 長
	2 納税対策について	(1) これまで税の延滞金に対する免除について質問し、前に進めると答弁しているが、具体的な取り組みについて問う。	市 長
	3 嘱託職員等の待遇改善について	(1) 総務省の通知をどのように受け止めているか。 (2) 期末手当の支給について、どのように検討されているのか。	市 長 市 長
	4 福祉・保健行政について	(1) 障害をもつ子供の放課後児童健全育成事業についてどのように取り組まれているか。 (2) 医療法に基づいて、本市における現状認識と今後の取り組みを問う。	市 長 教育委員長 市 長
	5 学校教育について	(1) 普通教室へのエアコンの設置を計画的に進める考えはないか。 (2) 子育て支援の立場から、給食費を無料にする考えはないか。	市 長 教育委員長 市 長 教育委員長
13鶴迫京子	1 医療行政について	(1) 病院やクリニック等で形成されている第1次医療機関である本市の地域医療の現状と、2次医療の中核拠点病院である曾於医師会立病院・有明病院等の曾於地域医療の現状について、認識を問う。 (2) 現状を踏まえて医療体制の充実に向け、これまで自治体としてどのように取り組んできたのか。また、これからどのように取り組むのか、今後の展望を問う。	市 長 市 長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1野村広志	1 教育行政について	(1) 地方教育行政の法律の一部改正に伴い、総合教育会議を設置し、首長は「大綱」を定めなければならないが、その考えを問う。	市 長 教育委員長
		(2) 学校規模適正化の基本方針に沿い定められた「学校再編基本計画及び第1次実施計画」の検証と今後の方針について示せ。	市 長 教育委員長
		(3) 確かな学力の定着に向けて、全国学力学習状況調査の通過率、平成28年度に県平均と同程度を目指すとするが、本年度の結果を踏まえ、指導方法について示せ。	市 長 教育委員長
		(4) 新学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加している。学力向上を掲げる中、教職員の配置状況や環境改善についての考えを問う。	市 長 教育委員長
		(5) 教育投資は未来の子どもたちへの先行投資である。新たな政策における、財源確保についての考えを問う。	市 長 教育委員長
		(6) 社会問題化している携帯・スマートフォンの使用方法について考えを問う。	市 長 教育委員長
2小辻一海	1 閉校後の中学校跡地利用について	(1) 田之浦中、出水中跡地利用の取り組み進捗状況について問う。 (2) 跡地利用を生かした地域活性化の取り組みについて問う。	市 長  市 長
	2 学校の統廃合について	(1) 有明地区中学校の今後の見通しを問う。	市 長 教育委員長
	3 特用林産物振興対策について	(1) 「こころざし花木ブランド」の確立に向けた取り組みについて考え方を問う。	市 長
3西江園 明	1 猫の不妊・去勢手術に対する補助金の創設について	(1) 志布志市内で、犬・猫の殺処分はどのくらいあるのか。また、市役所へ年間どのくらいの相談や苦情があるのか。 犬・猫を飼っている人はどのくらいいるのか。 (2) 全国でも多くの自治体が、猫の不妊・去勢手術に補助金（助成金）制度を設置している。当市でも創設すべきではないか。 (3) 市民のモラルについて、どのような取り組みを行っているのか。	市 長  市 長  市 長
	2 温水プールの備品整備について	(1) 世界新記録を出した市民プールとして一躍脚光をあびた市民プールだが、備品については、老朽化や不足が見受けられる状況にある。整備する見込みはあるのか。	市 長 教育委員長
	3 臨時・嘱託職員の人事異動について	(1) 特に教育委員会は、一人で業務を任される職場が多い。今後も定期的な人事異動を行うのか。	市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 2)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4小野 広嗣	1 空き家対策について	(1) 近年、全国的に空き家が増加傾向にあり、防災防犯上の観点からも問題になっている中、11月19日に「空き家等対策の推進に関する特別措置法案」が成立した。法案の成立を受け、本市では空き家対策について今後どのように取り組んでいくのか。	市 長
	2 子育て支援について	(1) 核家族化や地域コミュニティの希薄化が進む中、子育て家庭の育児不安が大きくなっている。誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるように、時代の変化に即した事業展開が必要である。本市の子育て支援に関する情報発信の在り方について問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 鹿児島県教育委員会は10月9日、県内のすべての公立小中学校で、土曜授業を月に1回行うよう求める方針を明らかにしたが、市長及び教育委員会は、この方針をどのように受け止めているのか。 (2) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保に向けた教員の多忙化を解消するための取り組みは、推進されているのか。	市 長 教育委員長  教育委員長
5八代 誠	1 医療行政について	(1) 一次医療・二次医療・三次医療の現状と今後の考え方について問う。 (2) 救急医療について問う。	市 長  市 長
	2 都市計画について	(1) 本市都市計画の現状（全般）について ①本市都市計画の基本理念について問う。 ②今後の取り組みについて問う。	市 長
6岩根 賢二	1 地域振興策について	(1) 地域振興策の一環として、県内では、公立高校の存続や生徒確保のための政策を打ち出している自治体がある。 高校の存在は地域活性化にも大きな影響があると思うが、本市でも、そのような観点から支援策を創出する考えはないか。	市 長 教育委員長
7鶴迫 京子	1 地域振興について	(1) 少子化が進み高校再編の中、地域の学校存続のために曾於市や伊佐市、いちき串木野市など、生徒確保のために総合的な支援策を実施している。105年の伝統を誇る県立志布志高校でも来年度、定員割れでクラス減になり十分な教育が行われなくなる懸念があると聞く。地域の生徒を地域で育てることで地域の活性化につながると思う。地域振興策として本市でも、バス代補助など先進事例にならない積極的な支援策は考えられないか。	市 長 教育委員長

## 一 般 質 問 通 告 書

平成26年12月定例会 (No. 3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7鶴迫京子	2 子育て支援について	(1) 子ども・子育て支援法に基づき子ども・子育て支援新制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間で1期とする事業計画を作成し、27年度から実施することになっている。現在の進捗状況を示せ。	市長
		(2) 福岡市では、関連事業のほか、少年期から非行や引きこもり対策に持続的に取り組むため、対象者の上限を現在の18歳から30歳まで拡大して、若者の自立支援や、発達障害児の増加を踏まえて家族の支援を含めた対応策等も盛り込んでいる。本市の計画では考慮されているか。	市長
		(3) 鹿屋市の児童養護施設「大隅学舎」では、こどもの短期入所生活支援事業（ショートステイ）を実施している。鹿屋市は事業を導入し業務委託している。保護者の用事の理由は一切問わず、児童の養育が一時的に困難となった場合、24時間体制で短期間（原則7日間）宿泊を伴う預かり事業である。日本一の子育て支援を掲げている本市でも導入すべきであると思うがどうか。	市長 教育委員長
8小園義行	1 政治姿勢について	(1) 本庁舎在り方検討委員会の取り組み状況を問う。	市長
	2 高齢者福祉について	(1) 第六期介護保険計画の取り組みについて問う。 (2) 敬老祝金を予算の範囲内で75歳以上すべての高齢者に支給するように、見直す考えはないか。	市長 市長
	3 嘱託職員の待遇改善について	(1) 期末手当に相当するものを支給する考えはないか。 (2) 一般職の通勤手当の見直しがあるが、嘱託職員等への対応は考えられているのか。	市長 市長
	4 教育行政について	(1) 学校給食の無料化について、子育て支援の立場から検討する考えはないか。 (2) 四浦小学校の閉校について、住民への説明・合意をどのように対応したのか。 (3) 四浦地域の現状認識と今後の校区、自治会の在り方等検討されての対応か。 (4) 地方教育行政法の改正について、新教育長、大綱、総合教育会議について、どのように考えている。	市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長 市長 教育委員長